



駐アルメニア日本国大使

田た口ぐち栄えい治じ

アルメニア剣道の芽生え

初代駐在日本大使としてアルメニア共和国の首都エレバンに赴任したのは2015年6月。赴任にあたり、稽古でお世話になっていた新宿区剣道連盟の真砂 威会長はじめ会員の皆様から温かく、熱い励ましをいただきました。そしてアルメニアに剣道の道場はあるのかと質問されたのですが在京のアルメニア大使館に聞いても良く分かりません。もし剣道がまだ始まっていないなら日本大使館開設の機会に何とか剣道を始められぬか、五段の自分にできることは

限界があるが日本とアルメニアの友好促進になり人脈も開拓できるのでは、そう思いつつ着任しました。

アルメニア共和国はコーカサス山脈の南、黒海とカスピ海に挟まれた高原地域にあります。人口は300万人ですが世界中にディアスポラ（移民コミュニティ）があり海外アルメニア人は70万人を超えています。旧ソ連から独立したのは1991年、日本と外交関係を結んで今年が25周年となります。若い国です、と言いたいのですが実はアルメニアの歴史は古いのです。富士山そっくりのアララト

山（現在はトルコ領）は旧約聖書でノアの方舟が漂着した山でアルメニア人はノアの子孫だと自負しています。史実としてもアルメニア民族最初の王国ウラルトゥの歴史は紀元前9世紀まで遡ることができます。また、アルメニアは西暦301年にローマに先んじて世界で最初のキリスト教国となった国でもあります。

そんな国に来て空手、柔道、合気道の愛好者が1万人を超え、子供たちの間ではサッカーよりも空手の人気が高いという話は驚きでした。しかし残念ながら剣道はまだ始まっていませんでした。

どこの国の日本大使館もその国との友好関係を深めるために日本ファンを増やすことに腐心します。その取掛かりとなるのはアニメ、漫画、日本語そして武道です。これらの愛好者は若く、将来は日本との交流の架け橋になり得る貴重な人材です。私も大使として合気道、空手の行事には必ず顔を出し、防具をつけて剣道の宣伝に努めました。そして日本語を教えている大学にお願いし、ようやく2016年2月にトレーニング室を借りて稽古を始めたのです。

一方、日本大使館はアルメニア青年スポーツ省と共催して第1回アルメニア武道フェスティバルを同年9月に開催しました。そして剣道の紹介、指導をってもらうべく国際交流基金の支援を得て5名の七段の先生方を新宿剣連から派遣していただきました。会場に集まった800人の参加者、観衆から初めて見る剣道の稽古、剣道形の演武に大きな拍手が送られ、フェスティバルは大成功でした。

現在、剣道の会員数は約40名になり毎週土曜朝の稽古にはうち20名ほどが新宿剣連から送られた竹刀、剣道着、防具で汗を流しています。今年3月には隣国ジョージアで開催された剣道セミナーに参加してアラン・デユカルム・ヨローツパ剣道連盟会長からも励ましをうけました。皆、もつと生徒を増やして剣道連盟を設立したいと意欲をもっています。

まだ1年半、芽生えたばかりのアルメニアの剣道ですが、花を咲かせることを急がず、まずはしっかりと根を張ることを心がけたいと思います。それは開設間もない日本大使館の活動にもあてはまるだろうと考えています。